

講師の思い込みが研修効果を下げてしまう、落ちてはならない穴を確認しよう！

『研修企画の落とし穴』

講師もお客様も研修の効果を絶えず求めています。

講師の「勝手な思い込み」や「得意技」で展開をすると“成果の低い研修”で終わる可能性もあります。

研修効果を上げるために、決して落ちてはならない「穴」を確認しておきましょう。

「コンテンツ」「参画」「振り返り」という視点で、研修を展開する必要性も確認していただけます。



【内容】

今回のテーマは、研修企画の落とし穴。講師業に慣れてくると、自信が出てくることもあれば、不安になることもあります。その自信は、本当にこのまま進んでいいのか。この不安は、見ないふりをして進めばなんとか過ぎるのか。

5つのケーススタディを読み、グループで話し合いました。たくさんの意見が出る中、ポイントとなったのは以下です。

ケース①経験のない研修でも引き受けること。ただし、しっかりヒアリングをして情報を収集する。紹介してくれた知り合いが頼んでよかったと思ってもらえるように研修をすること。

ケース②テキスト、スライド、板書の使い分けをすること。動画や資格に訴える場面はパウポが有効である。

ケース③討議を回すだけでなく、理解してもらうことに重点を置いて講師自ら発信すること。受講者が上辺で発言しているように感じたら突っ込んで聞くことも大切。

ケース④ガツン路線も一つの魅力。メリハリをつけ、矛盾のない理屈をつければ受講者は理解する。重要なのは何をもって話を聞いてもらう体制をつくるか。受講者を惹きつけるものを自分で作ること。

ケース⑤悪くはないが、好き嫌いが50/50になる。人事担当者は好むかもしれないが、受講者は微妙。偏りがあると問題になる。配分に注意すれば魅力になる場合もある。

【今回のケーススタディ】 研修企画の落とし穴 ～あなたならどうする～

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| ① YES！・Challenge！の姿勢 | 講師A 経験のないテーマの研修をすることになったら |
| ② まずはスライド作成から始める | 講師B パウポ・スライド中心の研修展開、本当にいいのかな |
| ③ グループ討議が最高 | 講師C 私はグループ討議指導の匠？受講者はワークで成長する |
| ④ 講師の権威付け | 講師D 女性講師はなめられる。上からガツン路線で頑張ります |
| ⑤ 研修は人間教育 | 講師E 人間力で指導するベテラン講師。共通テーマはどう生きるか |



[ホームページトップへ戻る](#)